ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041101） Communicative English Ⅰ L(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1~5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト：30%・授業での発表、積極的参加等：10%・期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (EnglishCentral)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishi 他）2020.　成美堂
￥2,200（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。遅刻を3回すると欠席1回となります。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041102） Communicative English Ⅰ L(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）　e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041103） Communicative English Ⅰ L(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041104） Communicative English Ⅰ L(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　秀知	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等：20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041105） Communicative English Ⅰ L(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041106） Communicative English Ⅰ L(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% Midterm exam: 20% Final test: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes should be used per week for Homework and e-learning.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041107） Communicative English Ⅰ L(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト　40%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041108） Communicative English Ⅰ L(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
3) 準備学習・事後学習に必要な学修
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習
第2 - 第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041110） Communicative English Ⅰ JE(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
3) 準備学習・事後学習に必要な学修
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習
第2 - 第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041111） Communicative English Ⅰ JE(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041112） Communicative English Ⅰ JE(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

宿題・授業への参加度: 20%
中間テスト及び期末テスト: 40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10分：e-learningのサポート等
10分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習 + コミュニケーション活動
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他), 2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041113) Communicative English Ⅰ JE(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041114） Communicative English Ⅰ JE(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1~5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト：30%・授業での発表、積極的参加等：10%・期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（EnglishCentral）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishi 他）2020.　成美堂
￥2,200（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。遅刻を3回すると欠席1回となります。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041115) Communicative English Ⅰ JE(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良 和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない） e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041116） Communicative English Ⅰ JE(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　麻美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

＜準備学習＞　(20時間)
①テキストの中の、あらかじめ指定された範囲について、辞書を用いずに1問1分のスピードで問題を解く。
②テキストの中の語彙集や辞書を用いながら、再度同じ問題を解く。

＜事後学習＞　(20時間)
①授業中に指定した英文について、それぞれを3回音読、3回音読筆写する。
②授業中に指定した英単語について、電子辞書の音声を聞きながら5回ずつ発音したうえで暗記し、
　小テスト、TOEIC-IPテスト及び期末テストに備える。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041117） Communicative English Ⅰ JE(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト・期末試験：45%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041118） Communicative English Ⅰ JE(9) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% Midterm exam: 20% Final test: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes a week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041119） Communicative English Ⅰ JE(10) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST(Takayuki Ishii 他) 2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が4回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041120） Communicative English Ⅰ JE(11) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

- TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
- e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
- In-class effort and participation ： 25%
- Quizzes and small tests ： 35%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041121） Communicative English Ⅰ JE(12) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
3) 準備学習・事後学習に必要な学修
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習
第2 - 第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041122） Communicative English Ⅰ JE(13) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST(Takayuki Ishii 他) 2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が4回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041123) Communicative English Ⅰ JE(14) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良 和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない） e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円（税別）

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041124） Communicative English Ⅰ JE(15) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 松島　欣哉	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
中間テスト：20%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
【アドヴァイス】
毎回予習を欠かさず、復習では、テキストの本文を１分間で150語読めるまで何度も音読して下さい。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　木曜日５校時
事前に相談内容を連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041125) Communicative English Ⅰ JE(16) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト・期末試験：45%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041126） Communicative English Ⅰ JE(17) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%・

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041127） Communicative English Ⅰ JE(18) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 480 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：15%，小テスト：15%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（Takayuki Ishii 他）
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041129） Communicative English Ⅰ T(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST(Takayuki Ishii 他) 2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が4回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041130） Communicative English Ⅰ T(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト: 40%
中/期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 水曜日16:00時から17:00時まで

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041131） Communicative English Ⅰ T(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：15%，小テスト：15%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041132) Communicative English Ⅰ T(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業への参加度:20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連 全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本の文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041133) Communicative English Ⅰ T(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末試験：30%（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト、宿題、授業内活動：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30　幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定め

られている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を中心とした授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041134) Communicative English Ⅰ T(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ジョナサン ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間試験：20%・期末試験：30%・参加：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー Contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041135) Communicative English Ⅰ T(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

小テスト 20%, 中間試験 20%, 期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R（IP）テスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部となります。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って小テストの準備と復習をして授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他 2020).
成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041136） Communicative English Ⅰ T(8) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 松島　欣哉	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%
中間テスト：20%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
【アドヴァイス】
毎回予習を欠かさず、復習では、テキストの本文を１分間で150語読めるまで何度も音読して下さい。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　月曜日５校時
事前に相談内容を連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内まで

とします。それ以降は欠席の扱いとなります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041137） Communicative English Ⅰ T(9) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
In Class Effort: 20% Midterm exam: 20% Final test: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

90 minutes per week should be used for e-learning and homework

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041138） Communicative English Ⅰ T(10) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041139) Communicative English Ⅰ T(11) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

- TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
- e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
- In-class effort and participation ： 25%
- Quizzes and small tests ： 35%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041140） Communicative English Ⅰ A(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）30%・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041141） Communicative English Ⅰ A(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：40%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST(Takayuki Ishii 他）2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041142） Communicative English Ⅰ A(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：15%，小テスト：15%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041143) Communicative English Ⅰ A(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト・期末試験：45%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内まで

とします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041144) Communicative English Ⅰ A(5) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）30%
期末テスト30%（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041145） Communicative English Ⅰ A(6) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：40%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2)TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
3) 準備学習・事後学習に必要な学修
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習
第2 - 第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041146） Communicative English Ⅰ A(7) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト　40%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041148） Communicative English Ⅰ M(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 550 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

- TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
- e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
- In-class effort and participation ： 25%
- Quizzes and small tests ： 35%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041149) Communicative English Ⅰ M(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 550 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041150） Communicative English Ⅰ M(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 550 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041151） Communicative English Ⅰ M(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 550 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% Midterm exam: 20% Final test: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内まで

とします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。
教員の実務経験との関連 I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041152） Communicative English Ⅰ NP(1) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
この60%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)2020. 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041153) Communicative English Ⅰ NP(2) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In Class Effort: 20% Midterm exam: 20% Final test: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

I have taught English for over 10 years in both England and Japan. I have taught all types of English, from business and education, to conversation. I hold an MA in Creative Writing and CELTA certificate.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041154） Communicative English Ⅰ NP(3) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

- TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
- e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
- In-class effort and participation ： 25%
- Quizzes and small tests ： 35%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等

10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041155） Communicative English Ⅰ T(12) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト　40%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂.　ISBN 978-4-7919-7213-5　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041156） Communicative English Ⅰ T(13) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central) (20時間)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

＜準備学習＞　各単元ごとに最低限、次の点はクリアーすること。（20時間）
・単元の学習課題を確認し、未知・曖昧語句をリストアップしながら、ひとまず自力で解答する。
・未知・曖昧語句を、発音、意味、文型、コロケーションについて調べて整理する。
・整理した情報に基づいて再度解答する。一通り発音しておく。

＜事後学習＞　各単元ごとに最低限、次の点はクリアーすること。（20時間）
・各事項を音読練習する。
・事前整理事項の再整理を行う。
・音声教材を使ってシャドーイングを試みる。
・次回の授業で行われる復習テストに備える。

・TOEIC-IPテストに備えて、既習単元を意味を考えながら音読、必要に応じて筆写練習を行う。
・中間試験、期末試験の準備学習を滞りなく行う。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041157) Communicative English Ⅰ NP(4) Communicative English Ⅰ Communicative English I	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原 範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で 420 点以上のスコアを取ることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト 40%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST (Takayuki Ishii 他)
2020. 成美堂. ISBN 978-4-7919-7213-5 2,200円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041201） Communicative English Ⅱ L(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
In Class Effort: 10%
Midterm exam: 20%
Final exam: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041202） Communicative English Ⅱ L(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041203) Communicative English Ⅱ L(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%・期末試験：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English Combo Split 2A with Online Workbook. 2019. Cengage. ISBN 9780357130315.¥2750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041204） Communicative English Ⅱ L(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
3) 準備学習・事後学習に必要な学修
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習
第2－第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習

教科書・参考書等

OUR WORLD TODAY. (Adam Murray & Anderson Passos) 2019. 南雲堂. 9784523178903.　1,900円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内まで

とします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041205） Communicative English Ⅱ L(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1~5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業での発表：5%・宿題提出：10%・積極的参加等：10%・中間試験：10%・期末試験：15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (EnglishCentral)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kristin Johannsen. World English 2 THIRD Edition. Cengage Learning 978-0-35-713031-5　¥2,750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041206） Communicative English Ⅱ L(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度（Participation & in-class effort)：10%
中間テスト：20%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10分：e-learningのサポート等
10分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（+ コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

English Stream: Intermediate. (Takeuchi et al.). 2019. 金星堂. ￥1,800. ISBN 978-4764740808

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041207） Communicative English Ⅱ L(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間テスト：10%・期末テスト：20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 9784791978124.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041208） Communicative English Ⅱ L(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　秀知	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等：20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons. 南雲堂.ISBN: 9784523179061

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上，日時を決定してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041210） Communicative English Ⅱ JE(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

English in 30 Seconds. (Aoki, Masayuki). 2014. Nan'Un-Do. ISBN 978-4-523-17618-3.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041211） Communicative English Ⅱ JE(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
Midterm exam: 20%
Final Exam: 20%
In Class Effort: 10%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041212) Communicative English Ⅱ JE(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041213） Communicative English Ⅱ JE(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　麻美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
＜準備学習＞　(20時間)
テキストの中の、あらかじめ指定された範囲について、
①辞書を用いずに英文を読み、問題を解く。
②辞書を用いて同じ英文を読み、問題を解く。

＜事後学習＞　(20時間)
①授業中に指定した英文について、それぞれを3回音読、3回音読筆写する。
②授業中に指定した英単語について、電子辞書の音声を聞きながら5回ずつ発音したうえで暗記し、
小テスト、TOEIC-IPテストおよび期末テストに備える。

教科書・参考書等

笹島・工藤・荊・Larry・Haruna著『CLIL Intercultural Awareness』三修社. ISBN:9784384334944.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041214） Communicative English Ⅱ JE(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）25%・期末試験：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English Combo Split 2A with Online Workbook. 2019. Cengage. ISBN 9780357130315.¥2750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041215） Communicative English Ⅱ JE(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1~5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%（詳細は最初のクラスで説明します。）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
　第１回：オリエンテーション
　第２ - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (EnglishCentral)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kristin Johannsen. World English 2 THIRD Edition. Cengage Learning 978-0-35-713031-5　¥2,750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041216） Communicative English Ⅱ JE(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CLIL Intercultural Awareness（笹島茂 他）2020. 三修社.
ISBN 978-4-384-33494-4 2,000円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041217） Communicative English Ⅱ JE(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）25%
期末テスト25%（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ￥1,900+税.ISBN:9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041218） Communicative English Ⅱ JE(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kadoyama, T. & S. Capper.(2019) Let's Read Aloud & Learn English. 成美堂 2,200円＋税 ISBN 9784791978124

オフィスアワー　火曜　３時限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041219） Communicative English Ⅱ JE(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト、期末試験：35%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

教科書
Charles Browne &　田邉祐司.(2019). Expanding Horizons. 南雲堂.　￥2,750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041220） Communicative English Ⅱ JE(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：Homeworkの確認、e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動(Unit 01~ 15を１授業で1 unit)
第6回と第12回で小テストを実施
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus 音読で学ぶ基礎英語《キャンパス編》(Teruhiko Kadoyama & Simon Capper) SEIBIDO. 2019. ISBN978-4-7919-7182-4　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041221） Communicative English Ⅱ JE(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041222） Communicative English Ⅱ JE(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
In Class Effort: 10%
Midterm Exam: 20%
Final Exam:20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041223) Communicative English Ⅱ JE(14) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）20%・期末試験：30%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Tanabe Yuji他) 南雲堂　ISBN 9784523179061

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041224) Communicative English Ⅱ JE(15) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 松島　欣哉	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：10%
中間テスト：20%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
【アドヴァイス】
毎回予習を欠かさず、復習では、テキストの本文を１分間で150語読めるまで何度も音読して下さい。

教科書・参考書等

Murray, A. & Passos, A. Our World Today. (南雲堂), 1,900円＋税

オフィスアワー　木曜日５校時
事前に相談内容を連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041225） Communicative English Ⅱ JE(16) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間テスト：10%・期末テスト：20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978479198124.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041226） Communicative English Ⅱ JE(17) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト、期末試験：35%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Charles Browne &田邉祐司. (2019). Expanding Horizons. 南雲堂. ￥2,750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041227） Communicative English Ⅱ JE(18) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始－10(20)分：Homeworkの確認、e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動(Unit 01~ 15を１回で1 unit)
第6回と第12回で小テストを実施
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus 音読で学ぶ基礎英語《キャンパス編》(Teruhiko Kadoyama & Simon Capper) SEIBIDO. 2019. ISBN978-4-7919-7182-4　2,200円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041229) Communicative English Ⅱ T(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
Midterm exam: 20%
Final Exam: 20%
In Class Effort: 10%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行いま

す。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041230） Communicative English Ⅱ T(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041231） Communicative English Ⅱ T(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト25%
授業での発表等:25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Discovering Cool Japan. Akiko Tsuda, Kayoko Kinshi, and Christopher Valvona. SEIBIDO. ISBN 9784791971879. 2,500 yen (2,700yen including tax).

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
金曜日13:00-14:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041232） Communicative English Ⅱ T(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間テスト：10%・期末テスト：20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 9784791978124.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041233） Communicative English Ⅱ T(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 松島　欣哉	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：10%
中間テスト：20%
期末テスト：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
【アドヴァイス】
毎回予習を欠かさず、復習では、テキストの本文を１分間で150語読めるまで何度も音読して下さい。

教科書・参考書等

Murray, A. & Passos, A. Our World Today. (南雲堂), 1,900円＋税

オフィスアワー　月曜日５校時
事前に相談内容を連絡して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から10分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041234） Communicative English Ⅱ T(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業への参加度:20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。授業後は必ず復習をして下さい。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English(Kadoyama &Capper).2019.
成美堂. ISBN 9784791978124.￥2,200

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041235) Communicative English Ⅱ T(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：20%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Yuji Tanabe & Charles Browne)
2020. 南雲堂. ISBN 978-4-523-17906-1　2,750円.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041236） Communicative English Ⅱ T(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English Combo Split 1A with online workbook. 2019. Cengage. 9780357130292

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041237） Communicative English Ⅱ T(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC L&Rテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。

小テスト:10%, 中間試験:20%, 期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC L&R (IP)テスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 教科書
授業では下記テキストを使用します。指示に従い，復習と小テストの準備をして授業に臨んで下さい。
教科書にも e-learning (workbook)が付属しますので，動画と音声を利用して学習してください。

教科書・参考書等

World English Combo Split 2A with Online Workbook.
2019. Cengage. ISBN 9780357130315.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041238） Communicative English Ⅱ T(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kadoyama, T. & S. Capper.(2019) Let's Read Aloud & Learn English. 成美堂 2,200円＋税 ISBN 9784791978124

オフィスアワー　火曜　３時限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041239） Communicative English Ⅱ T(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末試験：25%（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト・宿題・授業内活動：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kadoyama, T. & Capper, S. (2019). Let's Read Aloud & Learn English On Campus, Seibido.
ISBN: 9784791971824　¥2,200+税

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を含む総合的な英語の授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041240） Communicative English Ⅱ A(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
この50%をどのように振り分けるかは第１回目の授業で担当者が説明します。
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041241） Communicative English Ⅱ A(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：20%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Yuji Tanabe & Charles Browne)
2020. 南雲堂. ISBN 978-4-523-17906-1　2,750円.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041242) Communicative English Ⅱ A(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（出席・発表・小テスト・提出物・授業への参加度など）25%
期末テスト25%（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ￥1,900+税.ISBN:9784523178903.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041243） Communicative English Ⅱ A(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CLIL Intercultural Awareness（笹島茂 他）2020. 三修社.
ISBN 978-4-384-33494-4 2,000円(税別)

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041244) Communicative English Ⅱ A(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間テスト：10%・期末テスト：20%・授業での発表等（予習・復習などの宿題を含む）20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English. (Kamoyama & Capper). 2019. 成美堂. ISBN 978479198124.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041245） Communicative English Ⅱ A(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業への積極的参加度、発表等：15%
小テスト、期末試験：35%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Chales Browne & 田邉祐司. (2019). Expanding Horizons. 南雲堂.
￥2,750

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041246） Communicative English Ⅱ A(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）20%・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Tanabe Yuji他) 南雲堂　ISBN 9784523179061

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041248） Communicative English Ⅱ M(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）
Midterm exam: 20%
Final Exam: 20%
In Class Effort: 10%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

教科書・参考書等

Traveler Intermediate by HQ Mitchel, ISBN: 978-960-443-974-4, publisher: MM Publications

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041249） Communicative English Ⅱ M(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

English in 30 Seconds. (Aoki, Masayuki). 2014. Nan'Un-Do. ISBN 978-4-523-17618-3.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041250） Communicative English Ⅱ M(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Murray, A. & A. Passos.(2019) Our World Today. 南雲堂 1,900円＋税　ISBN 9784523178903

オフィスアワー　火曜　３時限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041252） Communicative English Ⅱ NP(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間 講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

English in 30 Seconds. (Aoki, Masayuki). 2014. Nan'Un-Do. ISBN 978-4-523-17618-3.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041253） Communicative English Ⅱ NP(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CLIL Intercultural Awareness（笹島茂 他）2020. 三修社.
ISBN 978-4-384-33494-4　2,000円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041254) Communicative English Ⅱ NP(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業態度：20%，期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Yuji Tanabe & Charles Browne)
2020. 南雲堂. ISBN 978-4-523-17906-1　2,750円.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041255） Communicative English Ⅱ T(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末テスト：30%
小テスト（毎回実施）：10%
授業への積極的な取り組み：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１回）の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Expanding Horizons (Charles Browne 他)　2020.　南雲堂.
ISBN 978-4-523-17906-1　2,500円(税別)

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041256） Communicative English Ⅱ T(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（２年次に履修）		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central) (20時間)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

＜準備学習＞　各単元ごとに最低限、次の点はクリアーすること。（20時間）
- 単元の学習課題を確認し、未知・曖昧語句をリストアップしながら、ひとまず自力で解答する。
- 未知・曖昧語句を、発音、意味、文型、コロケーションについて調べて整理する。
- 整理した情報に基づいて再度解答する。一通り発音しておく。

＜事後学習＞　各単元ごとに最低限、次の点はクリアーすること。（20時間）
- 各事項を音読練習する。
- 事前整理事項の再整理を行う。
- 音声教材を使ってシャドーイングを試みる。
- 次回の授業で行われる復習テストに備える。

・TOEIC-IPテストに備えて、前期学習教科書を計画的に復習する。
・中間試験、期末試験の準備学習を滞りなく行う。

教科書・参考書等

English Stream: Pre-intermediate. (Takeuchi et a.). 2019. 金星堂. ISBN 9784746740600.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041257） Communicative English Ⅱ NP(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III		

学習時間　講義90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）:30%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストを使用しての演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Kadoyama, T. & S. Capper.(2019) Let's Read Aloud & Learn English. 成美堂 2,200円＋税 ISBN 9784791978124

オフィスアワー　火曜　３時限

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041258） Communicative English Ⅱ Z(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (1) 幸町キャンパス	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期月5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野 康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。
TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：予習確認テスト（5分），テキストを使用しての演習活動（85分）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト
【自学自習に関するアドバイス】
毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー 木曜　３校時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041259） Communicative English Ⅱ Z(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2) 林町（工学部）キャンパス	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野 康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：予習確認テスト（5分），テキストを使用しての演習活動（85分）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税

オフィスアワー 木曜　３校時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　(時間割コード：041301) Communicative English Ⅲ LJ(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :20%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: introducing self
Week 2: vacations
week 3: culture
week 4: explaining ideas
week 5 : Sharing an opinion
week 6: discussing current events
week 7: midterm presentations
week 8: body language and non verbal communication
week 9: Common presentation language
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: explaining a process.
Week 12: explaining how to do something in steps.
week 13: final presentation workshop
Week 14: review
Week 15: Final Presentations.
(self study)
Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041302) Communicative English Ⅲ LJ(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentaions workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041303) Communicative English Ⅲ LJ(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.[Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

Course Schedule
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 1 Student's Book with Audio CD: experiences by Steven Gershon (2015)

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041304) Communicative English Ⅲ LJ(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on: In class effort: 30% Homework/assignments: 20% Midterm presentation: 20% Final presentation 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー You will be informed about office hours and contact details during the first lesson

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041305) Communicative English Ⅲ LJ(5) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。

成績評価の方法と基準

quizzes：20%, in-class effort：30%, mid-term presentation：20%, final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この授業は、教科書を通して、学生の英語コミュニケーション能力を磨くことが目的です。ペアワーク、グループワークという活動がこの授業の中心です。クラスメートと先生と、テーマを決めて、内容を準備して、少しずつ練習して、よりいい英語での発表をできるようになるのが教員の期待です。お互いに応援し、助け合い、評価し、自信をもって英語で話す・発表することが目標です。毎回、練習して、少しずつ英語の発表が上達する。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第13回：Self-introductions, introducing someone, demonstration presentation, layout speech, book and movie review speech, show and tell.
第14・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第５週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業でいい発表できるように、授業へ来る前にテーマ・内容について調べる事が大事です。

教科書・参考書等

Getting Ready for Speech. A Beginner's Guide to Public Speaking. Charles LeBeau and David Harrington. Language Solutions Inc. ISBN1-929274-45-9 www.languagesolutionsinc.com

オフィスアワー 事前にメールで連絡してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041306） Communicative English Ⅲ LJ(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」の達成目標を授業担当者がご決定ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-15分　Homework の確認、クイズ
15分-授業終了　テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ Unit 15 を１回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Presentation　第14回でFinal Presentation を実施
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
Presentation については事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Presentations Today　Language and Skills for International Presentations (Christopher Pond). NAN'UN-DO. ISBN978-4-523-17864-4
2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041307) Communicative English Ⅲ LJ(7) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 4-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 by Gershon, S.? Cambridge University Press (2015) - ISBN: 978-1-10743563-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041308) Communicative English Ⅲ LJ(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて会話をしたり、3分程度のプレゼンテーション行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

次のような流れで、１～２回の授業で１Unitの進度で授業を進めていきます。
１．Warm-upとして発音練習をしたり、ペアでスモールトークをしたりする。
２．各Unitの掲げるテーマで、ペアやグループで会話をしながらテーマを掘り下げる。
３．モデルプレゼンテーションを利用して、リスニング、リーディング活動をする。
４．各Unitの掲げるテーマでプレゼンテーションをする時に役立つ表現を確認する。
５．その他プレゼンテーションを効果的にするテクニックについて学ぶ。

【授業計画】

第１回・・・・・・・Introduction
第２～７回・・・・・Unit １～４
第８回・・・・・・・Mid-term Presentation
第９～１４回・・・・Unit ５～８
第15回・・・・・・・Final Presentation

【自学自習のためのアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第13回：教員の指示に従い、十分に予習、宿題をして授業に臨むこと。
第８回・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業中に行う。

教科書・参考書等

教科書：Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk.(2019). Ready to Present--A Guide to Better Presentations. Cengage Learning ￥2,500

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041309） Communicative English Ⅲ LJ(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点６０％（出席、欠席、遅刻、居眠り、忘れ物、授業への参加度［予習、復習、授業中の活動など］、小テスト、提出物）、および期末試験４０％。授業出席者の能力、授業の進度なども考慮し、総合的に評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】
教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。
【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト
第１６回：期末テスト
【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書のトレーニング・マニュアルを参照すること。
（基礎トレーニング）
１、２週目の毎日のメニュー。
①テキストを見ないでＣＤを聴く×２回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×２回
④ＣＤを聴きながら、１文ずつ音読する×１回
⑤ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑥仕上げの音読をする×２回
（応用トレーニング）
３～５週目の毎日のメニュー
①テキストを見ないでＣＤを聴く×１回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×１回
④ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑤テキストを筆写する×１セット
⑥仕上げの音読をする×２回

教科書・参考書等

國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2004年、
￥1,200+税、ISBN978-4-7700-2524-1

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041310) Communicative English Ⅲ LJ(10) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習45時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Presentations：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れで、個人あるいはグループで計5回のpresentationを行ってもらいます。
【授業計画】
第1~2回：Unit 1
第3~5回：Unit 2
第6~8回：Unit 4
第9~11回：Unit 5
第12~15回：Unit 8
【授業外学習に関するアドバイス】
Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN: 978-4-86-312351-9, ¥2,500+税

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30　幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語プレゼンテーションについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041311） Communicative English Ⅲ LJ(11) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　麻美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋準備学習（15時間）＋事後学習（15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class efforts：50%　Recitation：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
英文を繰り返し音読、筆写させ、授業の終わりにその成果をチェックする。学期中に数回、暗唱テストを行う。

【授業計画】
第1回：ガイダンス
第2～15回：演習活動
第16回：Final Exam

【授業外学習に関するアドバイス】
＜準備学習＞　(15時間)
指定されたパッセージについて、1文ずつを3回音読し3回音読筆写したうえで暗唱し、Recitationに備える。

＜事後学習＞　(15時間)
授業で学んだ英文すべてについて、1文ずつを3回音読し3回音読筆写したうえで暗唱し、小テストに備える。

教科書・参考書等

『英会話・ぜったい・音読　続・標準編』講談社インターナショナル, 國広正雄・千田潤一監修（2004）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041313) Communicative English Ⅲ ED(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students should be able to deliver a 5 minute speech in English as well as form a stronger understanding of western culture with regard to body language, business and public speaking.

成績評価の方法と基準

Students will be Evaluated as follows:

Midterm presentation: 20%
Final Presentation: 30%
Homework 30%
In Class Effort: 20

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)

Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)

Week 1: introducing self
Week 2: vacations
week 3: culture
week 4: explaining ideas
week 5 : Sharing an opinion
week 6: discussing current events
week 7: midterm presentations
week 8: body language and non verbal communication
week 9: Common presentation language
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: explaining a process.
Week 12: explaining how to do something in steps.
week 13: final presentation workshop
Week 14: review
Week 15: Final Presentations.

(self study)

Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be

set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041314) Communicative English Ⅲ ED(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 40%
Homework: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-14: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 15-16: Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7: Midterm-presentations
Week 8-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Final presentations

教科書・参考書等

Present Yourself I, (S.Gershon) CUP

オフィスアワー Please contact the instructor to arrange a meeting.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041315) Communicative English Ⅲ ED(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on: In class effort: 30% Homework/assignments: 20% Midterm presentation: 20% Final presentation 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー You will be informed about office hours and contact details during the first lesson

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041316) Communicative English Ⅲ ED(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		
学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習１５時間）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

In-class effort：30%　Midterm presentation：30%　Final presentation：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

プレゼンテーションに必要な様々な要素や表現パターンを、ペアーワーク、グループワークを通して繰り返し練習することによって、自信を持って人前で英語を話せるようになる訓練をいたします。積極的に授業に参加して、話すだけでなく、パートナーやクラスメートの話すことを注意深く聞き、お互いにリアクションをしあうことが必要です。授業中の活動を有意義なものにするためにも、宿題にする課題は必ずやってきましょう。

【授業計画】

第 1回:オリエンテーション Introduction
第 2回:Unit1,Unit2
第 3回:Unit3,Unit4
第 4回:Unit5,Unit6
第 5回:Unit7,Unit8
第 6回:Unit9,Preparation for the Midterm presentation
第 7回:Midterm presentation
第 8回:Unit10
第 9回:Unit11
第10回:Unit12
第11回:Unit13
第12回:Unit14
第13回:Unit15
第14回:Review
第 15回:Preparation for the Final Presentation
期末試験:Final presentation

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。（各授業毎に予習復習に約２時間程度）
第7・期末試験日：プレゼンテーションを行う。事前に授業で詳しい説明をしますので、計画的に準備をして臨んで下さい。（プレゼンテーションの練習にそれぞれ約２時間以上）

教科書・参考書等

English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.)

2018. 南雲堂.　ISBN 978-4-523-17864-4 ¥2000
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041317) Communicative English Ⅲ ED(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.[Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework: 30%　In-class effort: 20%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]

Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 1 Student's Book with Audio CD: experiences by Steven Gershon (2015)

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041318) Communicative English Ⅲ ED(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備 30時間）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で５分間程度のスピーチを行うことができる。
4. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：25%　In-class effort：25%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。
【授業計画】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第14回：テキストに沿ってプレゼンテーションの技法を学ぶ。途中7，8回目あたりに中間試験を実施しますが、詳細はクラスでお話します。
第15回+期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業で行います。計画的に準備しておくこと。
【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチに数多く触れるよう意識してください。TED Talkなどのスピーチ動画を定期的に観てください。こちらから指定したものを観る場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源などを探して英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

英語スピーチとプレゼンの技術　Your First Speech and Presentation. (Kobayashi, T & Clankie, S.M.)
2011 南雲堂　ISBN：978-4-523-17662-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041319) Communicative English Ⅲ ED(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignment：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って授業を進めます。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回以降：テキストに従って行います。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業での積極的な参加、また与えられた課題は必ずやってくることを前提とします。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present - A Guide to Better Presentations. Cengage, ¥2,500+税、ISBN: 978-4-86312-351-9

オフィスアワー　必要があれば授業時間に。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041320） Communicative English Ⅲ ED(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点６０％（出席、欠席、遅刻、居眠り、忘れ物、授業への参加度［予習、復習、授業中の活動など］、小テスト、提出物）、および期末試験４０％。授業出席者の能力、授業の進度なども考慮し、総合的に評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】
教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書のトレーニング・マニュアルを参照すること。
（基礎トレーニング）
１、２週目の毎日のメニュー。
①テキストを見ないでＣＤを聴く×２回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×２回
④ＣＤを聴きながら、１文ずつ音読する×１回
⑤ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑥仕上げの音読をする×２回
（応用トレーニング）
３～５週目の毎日のメニュー
①テキストを見ないでＣＤを聴く×１回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×１回
④ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑤テキストを筆写する×１セット
⑥仕上げの音読をする×２回

教科書・参考書等

國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2004年、
￥1,200+税、ISBN978-4-7700-2524-1

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041321） Communicative English Ⅲ ED(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 鳥越　秀知	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignment：20%　In-class effort：20%　Speech：30%　Exam: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第１回 Introduction
第２回～第１５回　教科書を用いたスピーキング活動
参加学生諸君の状況に基づいて，interviewやspeechを適宜加えていきます。

【自学自習のためのアドバイス】
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨むこと。必ず授業の進度に合わせて受講部分を精読し，テーマに関わる語彙を準備して,何度も音読しておくこと。（15時間）
復習では，授業の学習項目を確認し，Speakingの練習をしておくこと。また，発表に備えて，英文を書き人前で話す練習をしておくこと。（15時間）

教科書・参考書等

Pond Christopher. (2018) English Presentations Today: Language and Skills for International Presentations. NAN'UN-DO. ¥2,160 ISBN: 978-4-523-17864-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041322) Communicative English Ⅲ ED(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる

(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（棒読みしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。
評価は２回のスピーチ６０点＋毎週の活動40点。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎週スピーチに利用できる表現を練習し覚えていく。
２回のプレゼンテーションの準備をする。

【授業計画】
4/10 : Introduction to the course / Getting Ready
4/17 : Good friend 1
4/24 : Good friend 2
5/ 1 : Favorite place 1
5/15 : Favorite place 2
5/22 : Prized possession 1
5/29 : Prized possession 2
6/ 5 : Speech 1
6/12 : Memorable experience 1
6/19 : Memorable experience 2
6/26 : I'll show you how 1
7/ 3 : I'll show you how 2
7/10 : Screen magic 1
7/17 : Screen magic 2
7/25 : Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
出版社ウェブページでビデオや音声ファイルが利用できる。ダウンロードして持ち歩き，口に出して練習すること。
https://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources

教科書・参考書等

Textbook: Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041323) Communicative English Ⅲ ED(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割** 2020年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Notebook and written assignments: 30%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-13: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 14-15: Final presentations
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write 200 words per week on a topic given in class.
Week 7: Midterm-presentations
Week 8-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write 200 words per week on a topic given in class.
Week 14-15: Final presentations

教科書・参考書等

英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Wednesday 16-00-17-00 and Thursday 13:00-14:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041324) Communicative English Ⅲ T(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 2 by Gershon, S.? Cambridge University Press (2015) ? 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041325) Communicative English Ⅲ T(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｼﾞｪｰﾑｽﾞ・ﾌﾞﾛｯｸｽﾎｰﾑ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 30%　　Homework/ assignments: 40%　　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Class work will center on activities in the textbook, and other supplementary materials. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials. Students should also prepare for final presentations.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15: Students should deliver final presentations.

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Review the lesson before the next class

教科書・参考書等

English Firsthand 2. 5th Edition. Pearson. (2018) ISBN 9789813130234 ¥3135 (Amazon)

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041326) Communicative English Ⅲ T(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations
【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041327) Communicative English Ⅲ T(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ・ｲｱﾝ・ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 3-5 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort) : 20%
Homework & mini-presentations: 30%
Midterm presentation : 20%
Final presentation : 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, activities in the textbook (Present Yourself 2) will fill the first hour of class time. Students will practice speaking and presentation skills such as eye contact and voice projection. They will also learn how to organize an effective presentation. In the last 30 minutes, music, videos, and short readings will be used as topics for discussion and other speaking/writing tasks. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Only English will be used in the classroom.
【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2-6: Textbook & speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook & speech practice
Week 13: Final presentation workshop (practice session & PowerPoint check)
Week 14-15: Final presentations
【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation and write self-assessments.
Week 9-12: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 13-15: Students should prepare for the final presentation and write self-assessments.

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015). Present Yourself 1 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN: 978-1-107-43563-6 (￥2,980)

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041328） Communicative English Ⅲ T(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」の達成目標を授業担当者がご決定ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-15分　Homework の確認、クイズ
15分-授業終了　テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ Unit 15 を１回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Presentation　第14回でFinal Presentation を実施
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
Presentation については事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Presentations Today　Language and Skills for International Presentations (Christopher Pond). NAN'UN-DO. ISBN978-4-523-17864-4
2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　(時間割コード：041329) Communicative English Ⅲ T(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 田口　明美	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　　授業90分×15回＋授業外学習
（予習10時間・復習10時間・発表準備10時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト2回:40%
授業への参加度:20%
中間スピーチ:20%
期末スピーチ:20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
1.発話の機会を多く取り入れてスピーキング能力の向上を目指します。
2.第8回と第15回にスピーチを行います。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~6回:演習活動
第7回:小テスト/演習活動
第8回:中間スピーチ＋ディスカッション
第9回~13回:演習活動
第14回:小テスト/演習活動
第15回:期末スピーチ＋ディスカッション

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2回～7回：小テスト及びスピーチに備えて下さい。
　　具体的な指示はネットワークを通して行います。(15時間)
第9回~14回：小テスト及びスピーチに備えて下さい。
　　具体的な指示はネットワークを通して行います。(15時間)

教科書・参考書等

You're welcome!.(Tae Kudo).2016.センゲージラーニング株式会社.
ISBN 978-4-86312-279-6.￥2,000.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041330) Communicative English Ⅲ T(7) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-5: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 2 by Gershon, S.? Cambridge University Press (2015) ? 2015 - ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041331) Communicative English Ⅲ T(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｼﾞｪｰﾑｽﾞ・ﾌﾞﾛｯｸｽﾎｰﾑ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 30% Homework/ assignments: 40% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Class work will center on activities in the textbook, and other supplementary materials. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials. Students should also prepare for final presentations.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15: Students should deliver final presentations.

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Review the lesson before the next class

教科書・参考書等

English Firsthand 2. 5th Edition. Pearson. (2018) ISBN 9789813130234 ¥3135 (Amazon)

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041332) Communicative English Ⅲ T(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations
【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041333) Communicative English Ⅲ T(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ・ｲｱﾝ・ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 3-5 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort) : 20%
Homework & mini-presentations: 30%
Midterm presentation : 20%
Final presentation : 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, activities in the textbook (Present Yourself 2) will fill the first hour of class time. Students will practice speaking and presentation skills such as eye contact and voice projection. They will also learn how to organize an effective presentation. In the last 30 minutes, music, videos, and short readings will be used as topics for discussion and other speaking/writing tasks. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Only English will be used in the classroom.
【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2-6: Textbook & speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook & speech practice
Week 13: Final presentation workshop (practice session & PowerPoint check)
Week 14-15: Final presentations
【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation and write self-assessments.
Week 9-12: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 13-15: Students should prepare for the final presentation and write self-assessments.

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015). Present Yourself 1 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN: 978-1-107-43563-6 (￥2,980)

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041334) Communicative English Ⅲ T(11) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」の達成目標を授業担当者がご決定ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-15分　Homework の確認、クイズ
15分-授業終了　テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ Unit 15 を１回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Presentation　第14回でFinal Presentation を実施
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
Presentation については事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Presentations Today　Language and Skills for International Presentations (Christopher Pond). NAN'UN-DO. ISBN978-4-523-17864-4
2,200円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041335) Communicative English Ⅲ T(12) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習
（予習10時間・復習時間10時間・発表準備10時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト2回:40%
授業への参加度:20%
中間スピーチ:20%
期末スピーチ:20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
1. 発話の機会を多く取り入れてスピーキング能力の向上を目指します。
2. 第8回と第15回にスピーチを行います。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~6回:演習活動
第7回:小テスト/演習活動
第8回:中間スピーチ＋ディスカッション
第9回~13回:演習活動
第14回:小テスト/演習活動
第15回:期末スピーチ＋ディスカッション

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2回～7回：小テスト及びスピーチに備えて下さい。
具体的な指示はネットワークを通して行います。(15時間)
第9~14回：小テスト及びスピーチに備えて下さい。
具体的な指示はネットワークを通して行います。(15時間)

教科書・参考書等

You're Welcome!.(Tae Kudo).2016.センゲージラーニング株式会社.
ISBN 978-4-86312-279-6.　￥2,000.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041336) Communicative English Ⅲ A(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentaions workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041337) Communicative English Ⅲ A(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス　ダニエル　フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10%　Mid-term presentation: 30%　Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In- class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentaions workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041338) Communicative English Ⅲ A(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長木 愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習時間30時間＋事後学習時間30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて３分間程度の発表を行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書に沿ってプレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション・Introduction / Examples of Presentations
第2回?7回：Unit1?6, 12?15
第8回：Midterm Presentation
第9回?14回：Unit7?11・Preparation / Peer Review / Rehearsal
第15回：Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、Appendix (Examples of Presentations) 教科書p.84~85の本文を読んでおくこと。
第2回～第14回：教員の支持に従い、十分に予習・準備をした上で授業に臨むこと。
第8・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第5週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。
【自学自習のためのアドバイス】
授業中にペア・グループワークができるように以下を準備しておく。
第1回： テキストのp.8にあるStudent1の欄にQuestion1~5についての自分自身の答えを英語で書く。
Appendix(p.84-85)を読んで内容を理解しておく。
第2回： Unit１の1, 4, 5, 7, Unit２の1, 2, 4, 5, 6の問いの答えを書く。
第3回： Unit３の1, 3, 4, 5, Unit4の1の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第4回： Unit5の1, 3, 6, 7, Unit6の3, 6の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第5回： Unit12の1, 4, Unit13の1, 3, 4の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第6回：Unit14の3の問いの答えを書く。Midterm Presentationのスピーチの原稿を準備。
第7回：Unit15の1, 3, 5の問いの答えを書く。スピーチの原稿を修正して暗唱準備。
第8回：Midterm Presentationのスピーチを暗唱し、練習する。
第9回：Unit7の1, 2, 3の問いの答えを書く。Final Presentationのスピーチの原稿を準備。
第10回：Unit8の4, 5, 6の問いの答えを書く。スピーチの原稿を修正する。
第11回：Unit9の3, 6の問いの答えを書く。スピーチの原稿を暗唱する。
第12回：Unit10の1, 5の問いの答えを書く。Unit10の6を読んで内容を理解しておく。Final Presentationのパワーポイントを準備。
第13回：Unit11の1, 2, 3, 6の問いの答えを書く。パワーポイントを修正する。
第14回：スピーチのスクリプトとパワーポイントを完成させ、発表準備をする。
第15回：リハーサルののちスピーチ・パワーポイント修正をし、暗唱・練習をする。

教科書・参考書等

Christopher, P (2018) English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. 南雲堂. ¥2,000+税 ISBN 978-4-523-17864-4

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041339) Communicative English Ⅲ A(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長木 愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習時間30時間＋事後学習時間30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて３分間程度の発表を行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書に沿ってプレゼンテーションに利用できる表現を覚える。２回のプレゼンテーションの準備をする。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション・Introduction / Examples of Presentations
第2回?7回：Unit1?6, 12?15
第8回：Midterm Presentation
第9回?14回：Unit7?11・ Preparation / Peer Review / Rehearsal
第15回：Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、Appendix (Examples of Presentations) 教科書p.84~85の本文を読んでおくこと。
第2回～第14回：教員の支持に従い、十分に予習・準備をした上で授業に臨むこと。
第8・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第5週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【自学自習のためのアドバイス】
授業中にペア・グループワークができるように以下を準備しておく。
第1回： テキストのp.8にあるStudent1の欄にQuestion1~5についての自分自身の答えを英語で書く。
Appendix(p.84-85)を読んで内容を理解しておく。
第2回： Unit１の1, 4, 5, 7, Unit２の1, 2, 4, 5, 6の問いの答えを書く。
第3回： Unit３の1, 3, 4, 5, Unit4の1の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第4回： Unit5の1, 3, 6, 7, Unit6の3, 6の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第5回： Unit12の1, 4, Unit13の1, 3, 4の問いの答えを書く。Finding outのショートスピーチを準備。
第6回：Unit14の3の問いの答えを書く。Midterm Presentationのスピーチの原稿を準備。
第7回：Unit15の1, 3, 5の問いの答えを書く。スピーチの原稿を修正して暗唱準備。
第8回：Midterm Presentationのスピーチを暗唱し、練習する。
第9回：Unit7の1, 2, 3の問いの答えを書く。Final Presentationのスピーチの原稿を準備。
第10回：Unit8の4, 5, 6の問いの答えを書く。スピーチの原稿を修正する。
第11回：Unit9の3, 6の問いの答えを書く。スピーチの原稿を暗唱する。
第12回：Unit10の1, 5の問いの答えを書く。Unit10の6を読んで内容を理解しておく。Final Presentationのパワーポイントを準備。
第13回：Unit11の1, 2, 3, 6の問いの答えを書く。パワーポイントを修正する。
第14回：スピーチのスクリプトとパワーポイントを完成させ、発表準備をする。
第15回：リハーサルののちスピーチ・パワーポイント修正をし、暗唱・練習をする。

教科書・参考書等

Christopher, P (2018) English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. 南雲堂. ¥2,000+税 ISBN 978-4-523-17864-4

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041340） Communicative English Ⅲ A(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【自学自習のためのアドバイス】

・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第1～3回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（6時間）
第4～5回：ボディランゲージ、とくにアイコンタクトとジェスチャーの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（4時間）
第6～7回：論理的なプレゼンテーションの構造について理解を深め、第8回の中間発表に向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）
第8回～第13回：ポーズや強弱など、さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ、英語のプレゼンテーションの原稿を書く（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で説明することを目標に、期末試験のプレゼンテーションに向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 （時間割コード：041341） Communicative English Ⅲ A(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 吉川 友子	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【自学自習のためのアドバイス】

・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第1～3回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（6時間）
第4～5回：ボディランゲージ、とくにアイコンタクトとジェスチャーの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（4時間）
第6～7回：論理的なプレゼンテーションの構造について理解を深め、第8回の中間発表に向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）
第8回～第13回：ポーズや強弱など、さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ、英語のプレゼンテーションの原稿を書く（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で説明することを目標に、期末試験のプレゼンテーションに向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041344) Communicative English Ⅲ M(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Student participation: 20%
Notebook and written assignments: 30%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Students should be prepared to introduce themselves in English in front of the class.
Weeks 2-6: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Week 7: Mid-term presentations
Weeks 8-13: Practice of specific presentation skills based on topics in the textbook
Weeks 14-15: Final presentations
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write 250 words per week on a topic given in class.
Week 7: Midterm-presentations
Week 8-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write 250 words per week on a topic given in class.
Week 14-15: Final presentations

教科書・参考書等

英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041345) Communicative English Ⅲ M(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ・ｲｱﾝ・ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 5-7 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort) : 20%
Homework & mini-presentations: 30%
Midterm presentation : 20%
Final presentation : 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, activities in the textbook (Present Yourself 2) will fill the first hour of class time. Students will practice speaking and presentation skills such as eye contact and voice projection. They will also learn how to organize an effective presentation. In the last 30 minutes, music, videos, and short readings will be used as topics for discussion and other speaking/writing tasks. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Only English will be used in the classroom.
【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2-6: Textbook & speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook & speech practice
Week 13: Final presentation workshop (practice session & PowerPoint check)
Week 14-15: Final presentations
【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation and write self-assessments.
Week 9-12: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 13-15: Students should prepare for the final presentation and write self-assessments.

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015). Present Yourself 2 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN: ISBN 978-1107435780 (￥3,025)

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041346) Communicative English Ⅲ M(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」の達成目標を授業担当者がご決定ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-15分　Homeworkの確認、クイズ
15分-授業終了　テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit1 ~ Unit 14を1回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Presentation 第14回でFinal Presentation を実施
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
Presentation については事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

Winning Presentations　8 Types of Successful Presentation 動画で学ぶ英語プレゼンテーション-覚えておきたい8のモデル（Akira Morita 他）2018. SEIBIDO. ISBN978-4-7919-3424-9　2,500円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 （時間割コード：041347） Communicative English Ⅲ M(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 長井 克己	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語で３分間，話し続けることができる。
2. 医療に関するテーマについて，自分の意見を英語で伝え，質問に答えることができる。

(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

(1) 3-minute speech (20%)
(2) Q&A on newspaper articles (20%)
(3) Exam 1 (30%) and Exam 2 (30%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の?法】
(1) Speech in 3 minutes on newspaper articles, (2) Q&A とコメント作成,
(3) 教科書を用いた Shadowing / Role-play 練習

【授業計画】
4/10 : ニュース記事速読, part 1
4/17 : part 2, ch 1-2, news 1
4/24 : ch 3-4, news 2
5/ 1 : ch 5-6, news 3
5/15 : ch 7-8, news 4
5/22 : ch 9-10, news 5
5/29 : ch 11, news 6
6/ 5 : tutorial, exam 1 (part 2, ch 1-11)
6/12 : ch 12-13, news 7
6/19 : ch 14-15, news 8
6/26 : ch 16-17, news 9
7/ 3 : ch 18-19, news 10
7/10 : ch 20-21, news 11
7/17 : ch 22-23, news 12
7/22 : exam 2 (part 2, ch 12-23), follow-up

【?学?習に関するアドバイス】
スピーチ?ハンドアウトを学籍番号(Mの入った番号).pdfとして作成し，前?正午までにメール添付で提出すること。毎週のスピーチへのコメント提出を出席確認とするので注意。
教科書 Part 1 は易しすぎるので授業では扱わないが，Part 1 の Ch. 0-3 を中間試験の，Ch. 4-8 を期末試験の，それぞれの試験範囲の一部（1割程度）とするので見ておくこと。Part 2 部分の録音を繰り返し聞き，?と口で語彙を増やすこと。

教科書・参考書等

正しく診断するための 医師の診療英会話. ナツメ社. 978-4816358142.
スピーチの題材となるニュースは，１回目の授業で印刷物配布.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041348) Communicative English Ⅲ NP(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.Deliver a 5-minute presentation with visual support (either multi-media or real world props/handouts

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on: In class effort: 30% Homework/assignments: 20% Midterm presentation: 20% Final presentation 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will incorporate the textbook and other supplementary materials. Many tasks will involve the paraphrasing, discussion and presentation of real-world information from sources such as newspapers, magazines and television. Students will gradually learn key speech and presentation language along with western gesturing techniques.

Week1: Introduction to course.
Week 2 ~ 5: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 6 ~ 7: Mid-term presentations.
Week 8 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー You will be informed about office hours and contact details during the first lesson

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041349) Communicative English Ⅲ NP(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期金2	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
- Assignments: 20%
- In-class effort: 30%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(a score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 4-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 12-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 by Gershon, S.? Cambridge University Press (2015) - ISBN: 978-1-10743563-6

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041350） Communicative English Ⅲ NP(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進め、具体的な表現練習を重ね、まとまった内容を話すことへと発展させていきます。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）
第８回：中間発表
第９回～第１５回：演習活動（ユニット８～１４）
第１６回：期末発表

【自学自習のためのアドバイス】

・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し、計画的に準備しておくこと。
第1～3回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（6時間）
第4～5回：ボディランゲージ、とくにアイコンタクトとジェスチャーの重要性を理解し、身近なトピックで英語のプレゼンテーションの原稿を書く（4時間）
第6～7回：論理的なプレゼンテーションの構造について理解を深め、第8回の中間発表に向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）
第8回～第13回：ポーズや強弱など、さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ、英語のプレゼンテーションの原稿を書く（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で説明することを目標に、期末試験のプレゼンテーションに向けて資料を集め、計画、原稿を書く。（4時間）

教科書・参考書等

本名信行, 竹下裕子, Allan, Anthony. (2018) This is My Presentation! （動画を活用する英語プレゼンテーションの基礎） 桐原書店 2,300円＋税（税込2,484円）
ISBN: 978-4-342-55012-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041351) Communicative English Ⅲ NP(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる

(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。
第１回目の授業で配布する Rubric（棒読みしない，声が大きい，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。
評価は２回のスピーチ６０点＋毎週の活動40点。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎週スピーチに利用できる表現を練習し覚えていく。
２回のプレゼンテーションの準備をする。
【授業計画】(マルチメディア室)
4/10 : Introduction to the course / Getting Ready
4/17 : Good friend 1
4/24(大A) : Good friend 2
5/ 1 : Favorite place 1
5/15 : Favorite place 2
5/22 : Prized possession 1
5/29 : Prized possession 2
6/ 5 : Speech 1
6/12 : Memorable experience 1
6/19 : Memorable experience 2
6/26 : I'll show you how 1
7/ 3 : I'll show you how 2
7/10 : Screen magic 1
7/17 : Screen magic 2
7/25 : Speech 2
【授業外学習に関するアドバイス】
出版社ウェブページでビデオや音声ファイルが利用できる。ダウンロードして持ち歩き，口に出して練習すること。
https://www.cambridge.org/gp/cambridgeenglish/catalog/skills/present-yourself-2nd-edition/resources

教科書・参考書等

Textbook: Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回す

ると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041401) Communicative English Ⅳ LJ(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041402) Communicative English Ⅳ LJ(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」等の達成目標を授業担当者がご決定ください。詳細については資料１の 5.3 をご確認ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-10(20)分：Homework の確認、クイズ
10(20)分-授業終了：テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ 15を１回の授業で1 Unit
第8回でMidterm Essay 第15回でFinal Essay を書く
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
各エッセイの様式、タイトルについては授業で周知する。

教科書・参考書等

A Passage to Paragraph Writing　図解で学ぶパラグラフライティング　(Koki Endo) CENGAGE Learning. 2012. ISBN978-4-86312-182-9　2,100円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041403) Communicative English Ⅳ LJ(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; complete written homework assignments; summarize reading and listening passages

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30%
Midterm exam: 20%
Homework/assignments: 30%
Final exam: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will center on a written task from the textbook as well as supplementary materials. (E.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email etiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: Final report preparation and submission.

教科書・参考書等

Writing for the Real World: An introduction to General writing, by Roger Barnard and Dorothy E Zemach. Published by Oxford University Press. Student book ISBN 978-0-19-453814-5 ￥2,847

オフィスアワー You will be informed about the office hours and contact details during the first lesson.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041404) Communicative English Ⅳ LJ(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」等の達成目標を授業担当者がご決定ください。詳細については資料１の 5.3 をご確認ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　In-class effort：30%　assignments：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

This class will focus on writing but with a strong emphasis on pair and group work on tasks in class. By checking together to produce a written text, students will be encouraged and will learn better. The tasks in the text cover a variety of topics and introduce students to a good range of writing skills in English. Work together in class to write the task in the chapter.
????????????
1. The simple mechanics of writing 2. Thank you notes
3. Postcards and other cards
4. E-mail
5. Filling in forms
6. Directions
7. Mid-term check, review, questions. 8. Descriptions
9. Letters
10. Business letters
11. Letter of self-introduction
12. Diary
13. Journal
14. Review, questions
15. Final review, check

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

教科書・参考書等

Writing for the Real World. Student Book 1. By Roger Barnard and Dorothy E Rematch. Oxford. ISBN 978-0-19-453814-5

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041405) Communicative English Ⅳ LJ(5) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) ? ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041406） Communicative English Ⅳ LJ(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200～300 語程度のジャーナルやエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点：20%　　提出物：50%
中間・期末テスト：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業は大まかに次のような流れで進めていく。
１．Warm-up活動としてペアやグループでスモールトーク等をする。
２．ライティング活動の準備として、ブレーンストーミングをしたり、正しい文を書くための文法、またパラグラフの構成の仕方について学ぶ。
３．実際に宿題として書いてきた文章をクラス内でお互いにチェックしたり、口頭で発表したりする。

【授業計画】

第1回・・・・・・・オリエンテーション
第2回～７回・・・・Unit１～６
第8回・・・・・・・中間テスト
第9回～15回・・・・Unit７～１２
第16回・・・・・・・期末テスト

【自学自習のためのアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。英和・和英・英英辞書等持参すること。
その他：提出物の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

教科書
Kelly, C. & Gargadliano, A. Writing from within 1 (2nd Edition). (2011). CUP. ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041407) Communicative English Ⅳ LJ(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: introduction to course and text
week 2: writing about self
week 3: reviews
Week 4: narrative in writing/relative pronouns.
week 5: complaining in English
week 6: midterm presentation workshop
week 7: hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: formality and manners in writing.
week 9: abbreviations and appropriate use.
week 10: travel writing
Week 11: explaining a process (cooking, making something)
week 12: historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very

important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Writing From Within, by Curtis Kelly and Arlen Gogorliano ISBN: 978-0-521-188272 Publisher: CAMBRIDGE UNIV PR; Revised edition (2011) (2948 Yen)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041408） Communicative English Ⅳ LJ(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度（予習、復習、授業中の活動など）、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（出席、活動、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業出席者の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
適宜小テストを行うので、復習しておくこと。
小テストの範囲は、前週までの章からです。
小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

木塚晴夫.(2008).『Common Expression In English Writing　英作文のコア表現１８０』鶴見書店.￥1,800+税.ISBN:9784755303470

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041409） Communicative English Ⅳ LJ(9) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習30時間・事後学習30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 見本（モデル）を参考にして英語で 150 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20% In-class effort/homework：30% Essays：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。
brainstorming→organization→drafting→editing→feedback、という流れでエッセイを書いてもらいます。
【授業計画】
第1週：オリエンテーション
第2~3週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成），第4~5週：Unit 2（演習活動・エッセイ作成）
第6～7週：Unit 3（演習活動・エッセイ作成），第8～9週：Unit 4（演習活動・エッセイ作成）
第10～11週：Unit 5（演習活動・エッセイ作成），第12～13週：Unit 6（演習活動・エッセイ作成）
第14～15週：Unit 7（演習活動・エッセイ作成）
【授業外学習に関するアドバイス】
授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ￥2,680+税, ISBN: 9780521188272

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語ライティングについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041410） Communicative English Ⅳ LJ(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　麻美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋準備学習（15時間）＋事後学習（15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class efforts：50%　Final examination：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
英文を作成する際の、辞書の使い方を説明する。様々なトピックについて英文を作成する。

【授業計画】
第1回：ガイダンス
第2回～15回：演習活動
第16回：Final examination

【授業外学習に関するアドバイス】
＜準備学習＞　(15時間)
過去1週間に自分が行ったことや自分におこったことなどについて、200 words程度の英文を作成する。

＜事後学習＞　(15時間)
授業で学んだ英文すべてについて、1文ずつを3回音読し3回音読筆写したうえで暗記し、小テストおよび期末テストに備える。

教科書・参考書等

不要

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041411） Communicative English Ⅳ LJ(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1.英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2.ウェブの高度な検索で，適切なコロケーションを選ぶことができる。
3.手元を見ずにキーボードが打て，スペルチェックやシソラスが使える。
(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

In-class writing: 20%, Effort: 20%,
Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の?法】
(1) Watch/Read BBC news
(2) Discuss the topic
(3) Practice writing using Google advanced/collocation search
毎週ネット上で課題を提出し，出席確認とする。

【授業計画】
Oct 2：Introduction to the course / Unit 1
Oct 9 - Nov 20： Unit 1-4
Nov 27：Exam 1 / tutorial
Dec 4 - Jan 29: Unit 5-8
Feb 5：Exam 2 / follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
２回の試験は教科書の各課に２つずつの Reading の空所補充３０問。

教科書・参考書等

Broukal, M. (2015). Weaving It Together 2 Student Book
Cengage. ISBN 9781305251656.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041413) Communicative English Ⅳ ED(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ジョナサン ベリー	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 40%
Mid-term test: 30%
Final test: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Studens should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Weeks 2-7: Textbook-based activities
Week 8: Mid-term test
Weeks 9-15: Textbook-based activities
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等

Writing From Within I (C.Kelly & A. Gargagliano). CUP

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041414) Communicative English Ⅳ ED(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Caldwell, Andrew John	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Actively engage in English communication. 2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences. 3. Write English essays of approximately 300 words; complete written homework assignments; summarize reading and listening passages

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30%
Homework/ Written Assignments: 50%
Final exam: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Each class will center on a written task from the textbook as well as supplementary materials. (E.g. sending letters, work emails and so forth. Completed assignments will be used for group analysis and activities. Class will be conducted in English to develop students' English skills. Students will be set weekly writing tasks for homework.

Week 1: Students casually introduce themselves to their teacher and classmates.
Week 2 ~ 4: Units will be taught from the textbook covering topics such as appropriate email etiquette, filling out forms and business letters.
Week 5 ~ 6: preparation for and submission of midterm report.
Week 7 ~ 14: Continue to work through textbook: topics such as arranging meetings, writing descriptions, sending postcards and invitations.
Week 15 - 16: Final report preparation and submission.

教科書・参考書等

Writing for the Real World: An introduction to General writing, by Roger Barnard and Dorothy E Zemach. Published by Oxford University Press. Student book ISBN 978-0-19-453814-5 ￥2,847

オフィスアワー You will be informed about the office hours and contact details during the first lesson.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　(時間割コード：041415) Communicative English Ⅳ ED(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:

Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)

Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: introduction to course and text
week 2: writing about self
week 3: reviews
Week 4: narrative in writing/relative pronouns.
week 5: complaining in English
week 6: midterm presentation workshop
week 7: hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: formality and manners in writing.
week 9: abbreviations and appropriate use.
week 10: travel writing
Week 11: explaining a process (cooking, making something)
week 12: historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)

Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read

articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. Reading is very important if your aim is to improve your writing.
90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

Writing From Within, by Curtis Kelly and Arlen Gogorliano ISBN: 978-0-521-188272 Publisher: CAMBRIDGE UNIV PR; Revised edition (2011) (2948 Yen)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041416） Communicative English Ⅳ ED(4) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 小西　廣司	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習 15時間 + 事後学習 15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。
小テスト・授業への参加度（提出物・予習・復習等を含む）：50%
期末試験：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに沿って学習していきます。英文を書く際、英語コミュニケーション能力を付ける観点から学習を深め、実践的練習によりナチュラルな英文作成へと発展させていきます。基本的に、授業1回あたり1レッスンを進みます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回 - 第15回：テキストを使用しての演習活動。
期末試験

【自学自習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第1回 - 第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んでください。

準備学習・事後学習に必要な学修時間
第1回　オリエンテーション：英英辞典を含む辞書活用からみる英語学習（2時間）
第2 - 第15回　テキストを使用しての演習活動のための英語学習（28時間［各回2時間］）

準備学習・事後学習をする際、英和・和英辞典ではなく英英辞典を使用してください（購入等の具体的なことは第1回目の授業で説明します）。英英辞典が内臓されている電子辞書や、インターネット上で無料で使用できる英英辞典を使用するのでもかまいませんが、テストで辞書持ち込みが許可される場合は紙媒体の英英辞典しか持ち込みは許可されません。

教科書・参考書等

Writing for the Real World Level 2. (Roger Barnard & Antoinette Meehan) 2019. Oxford University Press. 2,810円（税別）ISBN 9780194538176

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041417） Communicative English Ⅳ ED(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 太田　眞理	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習１５時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

評価の案を示しておきますが、最終的な判断は授業担当者でお願いします。評価の一部として期末テストを行うことも可能です。

In-class effort：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%　Final exam ： 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】英文読解と、文法を軸とした英文作成を通して、英語のライティング力を高めることを目指したテキストを用います。各ユニットで一つの文法事項を取り上げ、その文法事項を様々なタスクを通して習得していきますので、毎回の授業に参加して着実に文法力を高め、読解を通して学んだ語彙や表現を、実際のライティングで自由に使えるようになる訓練を行ないます。

【授業計画】

第 1回：オリエンテーション,Unit1:Orange Clothing
第 2回Unit 2:A Reasonable Dream
第 3回Unit 3:Japan's Popular Wave
第 4回Unit 4:Color Matters
第 5回Unit 5:Business, Not Bullets
第 6回Unit 6:Spices for Life!
第 7回Unit 7:Plastic Planet
第 8回Unit 8:London Coffee and Lazy Men
第 9回Unit 9:Jacques' Lung
第10回Unit 10:Disease vs. Hunger
第11回Unit 11:May We Have a Catalog, Please?
第12回Unit 12:Bright Little Lights
第13回Unit 13:Popular but Penniless
第14回Unit 14:Taxing the Robots
第15回Unit 15:Sayonara, My Dear
期末試験

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
ライティングの授業ではありますが、授業ではペアワーク、グループワーク等で頻繁にコミュニケーションをとっていただきますので、前もっての準備を怠らず、授業中はアクティビティに積極的に参加して下さい。（第２回から１５回では、予習復習に各週約２時間程度）
その他：英語で書いたエッセイを７回目と15回目に提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。（エッセイの準備に各２時間以上）

教科書・参考書等

WRITING KEY. (Kitao, Y. & Allan, A.) 2019. 金星堂. ISBN 978-4-7647-4086-0¥1800

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041418） Communicative English Ⅳ ED(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		
学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）			

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】
テキストに従って行います。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業中に使用するノートを一冊用意してください（ルーズリーフ不可）。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1, Second Edition. Cambridge.
ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041419) Communicative English Ⅳ ED(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 森川　光与	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備 30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を自分の言葉で要約することができる。
4. 限られた時間の中で、英語で 300 語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力）に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：30%　In-class effort/writing：30%　Midterm paper：20%　Final Exam/Paper：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】社会人として求められる英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

【授業計画】

第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第1～15回目：指定の教科書とその他補足資料を使ったライティング中心の授業。7，8回目あたりに中間試験を実施します。詳細および日程はクラスでお伝えします。

期末試験期間：期末試験を実施

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：英語で書いたエッセイを数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】

毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。

事後学習として、英語によるスピーチや読み物に数多く触れるよう意識してください。こちらから指定したものを閲覧、または読んでいただく場合もありますが、指定がなくても英語に触れるための動画や音源、記事などを探して定期的に英語に触れていただきます。最初の授業で詳しくお話します。

教科書・参考書等

Writing from Within LEVEL2 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A) 2011. CUP.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が3回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から15分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041420） Communicative English Ⅳ ED(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 鳥越　秀知	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class effort：30％　Assignment: 20% Exam: 50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

主として，テキストに沿って授業を行います。授業で学んだことを利用して，２つのエッセイを書きます。エッセイのトピックは授業内で提示します。

【授業計画】

第１回目：オリエンテーション
第２回目～第６回目：テキストを使用しての演習活動
第７回目：エッセイ作成
第８回目～第12回目：テキストを使用しての演習活動
第13回目：エッセイ作成
第14回目～第15回目：テキストを使用しての演習活動

【自学自習のためのアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
予習では，次の授業の部分をよく読み，理解して授業に臨むこと。（15時間）
復習では，授業での学習を確認し，エッセイを書く準備をすること。（15時間）

教科書・参考書等

石谷由美子（2019）　Skills for Better Writing 〈Basic〉. 南雲堂.
ISBN: 978-4-523-17911-5

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041421） Communicative English Ⅳ ED(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度（予習、復習、授業中の活動など）、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（出席、活動、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業出席者の能力、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定である。
ただし、授業の出席者の能力や授業の進度により、変動する。
毎回、適宜補助プリントを使用する。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
適宜小テストを行うので、復習しておくこと。
小テストの範囲は、前週までの章からです。
小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

木塚晴夫.(2008).『Common Expression In English Writing　英作文のコア表現１８０』鶴見書店.￥1,800+税.ISBN:9784755303470

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041422) Communicative English Ⅳ ED(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ・ｲｱﾝ・ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester. Students' reading, listening, and speaking skills will improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Write well-developed paragraphs in English;
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary)
3. Competently proofread their own writing;
4. Competently revise their own writing, based on teacher feedback;
5. Type a 1-2 page essay in English using MS-Word;
6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact;
7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:
Participation (in-class effort): 30%
Writing tasks: 70%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, the first hour of class will be spent on activities in the textbook. Students will write in their notebooks, and engage in pair and group activities. In the last 30 minutes, students will take part in communicative tasks, such as role plays and writing/discussion activities that center on, for example, articles and music or videos. Students must write seven 1-page essays as homework assignments. Based on feedback from the teacher, they will then revise their assignments. All class activities will be conducted in English.

【Class schedule】
Week 1: Introductions; Writing sample
Week 2: Begin textbook work: How to type in English
Week 3: Essay #1 due; textbook work
Week 4: How to revise using error codes
Week 5: Essay #2 due; textbook work
Week 6: Textbook work
Week 7: Essay #3 due; textbook work
Week 8: Textbook work
Week 9: Essay #4 due; textbook work
Week 10: Textbook work
Week 11: Essay #5 due; textbook work
Week 12: Textbook work
Week 13: Essay #6 due; textbook work
Week 14: Textbook work

Week 15: Essay #7 due; Wrap up

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should do assigned homework in the textbook and complete essay assignments.

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9. 2,500 yen + 税.
* All students must also have a notebook for writing tasks.

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041423) Communicative English Ⅳ ED(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1.英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2.ウェブの高度な検索で，適切なコロケーションを選ぶことができる。
3.手元を見ずにキーボードが打て，スペルチェックやシソラスが使える。
(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

In-class writing: 20%, Effort: 20%,
Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の?法】
(1) Watch/Read BBC news
(2) Discuss the topic
(3) Practice writing using Google advanced/collocation search
毎週ネット上で課題を提出し，出席確認とする。

【授業計画】
Oct 2：Introduction to the course / Unit 1
Oct 9 - Nov 20： Unit 1-4
Nov 27：Exam 1 / tutorial
Dec 4 - Jan 29: Unit 5-8
Feb 5：Exam 2 / follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
２回の試験は教科書の各課に２つずつの Reading の空所補充３０問。

教科書・参考書等

Broukal, M. (2015). Weaving It Together 2 Student Book
Cengage. ISBN 9781305251656.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041424) Communicative English Ⅳ T(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. [Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework: 30% In-class effort: 20% Mid-term essay: 20% Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041425) Communicative English Ⅳ T(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 David Billa	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) ? ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041426) Communicative English Ⅳ T(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ｼﾞｪｰﾑｽﾞ・ﾌﾞﾛｯｸｽﾎｰﾑ	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30% Homework assignments/ journals: 40% Final report /exam: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Class work will center on activities in the textbook with additional supplementary materials. Various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
Course Schedule:
Week1: Introduction to the course. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content
Week 2-14: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials. Students should complete all assigned homework and written assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.
Week 15: Submission of final written report (completed in class)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Review the lesson before the next class

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) ? ISBN: 978-0-521-18827-2 ¥2948 (Amazon)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041427) Communicative English Ⅳ T(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.
4. Use dictionaries and other resources to produce comprehensible and accurate English sentences.

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Homework 30%
Mid-term test: 30%
Final test: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done both in class and as homework. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.
【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course
Week 2~7: Textbook work
Week 8: Mid-term writing test
Week 9~15 Textbook work
Week 16: Final writing test
【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2～6: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 7: Mid-term test.
Week 8～15: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 16: Final written test.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041428） Communicative English Ⅳ T(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習
（予習10時間・復習10時間・課題10時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことが出来る。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト2回:40%
授業への参加度:20%
中間エッセイ:20%
期末エッセイ:20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書に沿って授業を進め、プリントも適宜配布ます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~6回:演習活動
第7回:小テスト/演習活動
第8回:中間エッセイ提出
第9回~13回:演習活動
第14回:小テスト/演習活動
第15回:期末エッセイ提出

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2～7回：小テストの勉強と中間エッセイの準備をして下さい。(15時間)
第8回~14回:小テストの勉強と期末エッセイの準備をして下さい。
(15時間)
小テストの範囲や、提出するエッセイのタイトルは授業の時に指示します。

教科書・参考書等

English Ace.(Atsuko Yamamoto).成美堂.2017.ISBN 978-4-7919-5089-8. ￥1,900＋税

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041429) Communicative English Ⅳ T(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」等の達成目標を授業担当者がご決定ください。詳細については資料１の 5.3 をご確認ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm Essay：20%　Final Essay：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-10(20)分：Homework の確認、クイズ
10(20)分-授業終了：テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ 15を 1回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Essay　第15回でFinal Essay を書く。
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
各エッセイの様式、タイトル等については授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace コミュニケーションのための実践基礎英語 (Atsuko Yamamoto 他) SEIBIDO. 2019.
ISBM978-4-7919-5089-8　1,900円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041430) Communicative English Ⅳ T(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 Gudelia Garcia Fernandez Maria	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. [Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework: 30% In-class effort: 20% Mid-term essay: 20% Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.
* Essays will be collected during weeks 7 and 15. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Writing from Within Level 1 Student's Book by Curtis Kelly and Arlen Gargagliano (2011)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041431) Communicative English Ⅳ T(8) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 David Billa	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-page long journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-15: Students should write journal entries and complete assignments.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) ? ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041432) Communicative English Ⅳ T(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｼﾞｪｰﾑｽﾞ・ﾌﾞﾛｯｸｽﾎｰﾑ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In class effort: 30% Homework assignments/ journals: 40% Final report /exam: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Class work will center on activities in the textbook with additional supplementary materials. Various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
Course Schedule:
Week1: Introduction to the course. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content
Week 2-14: Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials. Students should complete all assigned homework and written assignments. Journal entries must be written every week. Journals will be collected three times during the semester.
Week 15: Submission of final written report (completed in class)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family
Listen to English songs and think about the meaning
Keep a journal in English
Try to learn and remember new English words
Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video
Review the lesson before the next class

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) ? ISBN: 978-0-521-18827-2 ¥2948 (Amazon)

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041433) Communicative English Ⅳ T(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 アーノルド・デビット	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.
4. Use dictionaries and other resources to produce comprehensible and accurate English sentences.

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Homework 30%
Mid-term test: 30%
Final test: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done both in class and as homework. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.
【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course
Week 2~7: Textbook work
Week 8: Mid-term writing test
Week 9~15 Textbook work
Week 16: Final writing test
【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2～6: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 7: Mid-term test.
Week 8～15: Students should complete assigned homework from the textbook and handouts.
Week 16: Final written test.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041434) Communicative English Ⅳ T(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義 **履修推奨科目** Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習
（予習10時間・復習10時間・課題10時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことが出来る。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト2回:40%
授業への参加度:20%
中間エッセイ:20%
期末エッセイ:20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書に沿って授業を進め、プリントも適宜配布します。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~6回:演習活動
第7回:小テスト/演習活動
第8回:中間エッセイ提出
第9回~13回:演習活動
第14回:小テスト/演習活動
第15回:期末エッセイ提出

【授業外学習に関するアドバイス】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んで下さい。
第2回～7回：小テストの勉強と中間エッセイの準備をして下さい。(15時間)
第8回~14回:小テストの勉強と期末エッセイの準備をして下さい。(15時間)
小テストの範囲や提出するエッセイのタイトルは授業の時に指示します。

教科書・参考書等

English Ace.(Atsuko Yamamoto).成美堂.2017.ISBN 978-4-7919-5089-8. ￥1,900＋税.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士としての実務経験をもとに、日本の文化および外国の文化や習慣に触れながら講義を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041435) Communicative English Ⅳ T(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 担当するレベルを考慮した上で「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」等の達成目標を授業担当者がご決定ください。詳細については資料１の 5.3 をご確認ください。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　Homework & In-class effort：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業開始-10(20)分：Homework の確認、クイズ
10(20)分-授業終了：テキストを使用しての演習
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回-15回：Unit 1 ~ 15を 1 回の授業で1 Unit
第7回でMidterm Essay　第15回でFinal Essay を書く。
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
各エッセイの様式、タイトル等については授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace コミュニケーションのための実践基礎英語 (Atsuko Yamamoto 他) SEIBIDO. 2019. ISBM978-4-7919-5089-8 1,900円（税別）

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041436) Communicative English Ⅳ A(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期木3	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ニコラス ダニエル フライ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041437) Communicative English Ⅳ A(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ニコラス ダニエル フライ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitaions, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. Class will be conducued exclusivly in English in order to develop students' overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test

[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041438） Communicative English Ⅳ A(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%
Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第４回ノート提出／第５回ノート返却）
第８回：Midterm paper
第９回～第15回：演習活動（ユニット７～１２）（第12回 ノート提出／第13回ノート返却）
第16回：Final paper

【自学自習のためのアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。ほとんどの学習内容がノートに書かれ、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深め、第8回のパラグラフライティング試験に向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041439) Communicative English Ⅳ A(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%
Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第４回ノート提出／第５回ノート返却）
第８回：Midterm paper
第９回～第15回：演習活動（ユニット７～１２）（第12回 ノート提出／第13回ノート返却）
第16回：Final paper

【自学自習のためのアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。ほとんどの学習内容がノートに書かれ、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深め、第8回のパラグラフライティング試験に向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041440） Communicative English Ⅳ A(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長木 愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習時間30時間＋事後学習時間30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Essays：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
いろいろな種類のパラグラフの構成とその書き方について、授業を行います。教科書内の演習から自分自身でパラグラフの作成という流れで、文章を書いてもらいます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション・Chapter 1
第2回?5回：Chapter2?5
第6回?7回：Chapter6
第8回?9回：Chapter 7・Teacher’s feedback / Revision
第10回?11回：Chapter 9
第12回?13回：Chapter 11
第14回?15回：Chapter 12・Teacher’s feedback / Revision

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイのドラフトを７回目と13回目に提出します。教員からのフィードバックをもとに自分でエッセイを修正し、最終提出をしてもらいます。タイトル等の指示は授業内で行います。計画的に準備しておくこと。

【自学自習のためのアドバイス】
第1?5回：該当するChapterのタイトルについての解説を読み理解する。Part1~3の英文を読んだあと各PartのPracticeをし、授業中にペア・グループワークができるように準備しておく。
第6?15回：該当するChapterのタイトルについての解説を読み理解する。Part1~4の英文を読んだあと各PartのPracticeをし、授業中にペア・グループワークができるように準備しておく。
第7回と第13回はトピックについてエッセイの第一ドラフトを作成する。授業中にペアでフィードバックできるように、２部印刷しておく。（授業の終わりに提出をする）
第9回と15回には、第8回と14回にTeacher’s feedbackを受けた第一ドラフトを修正し、最終提出できるように１部準備する。

教科書・参考書等

Mariko, K., Ayed, H. (2019) Real Writing From structured paragraph to complete essay 南雲堂 ¥2,200+税 ISBN: 978-4-523-17886-6

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041441） Communicative English Ⅳ A(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長木 愛	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習時間30時間＋事後学習時間30時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準 Quiz：20% In-class effort：30% Essays：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
いろいろな種類のパラグラフの構成とその書き方について、授業を行います。教科書内の演習から自分自身でパラグラフの作成という流れで、文章を書いてもらいます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション・Chapter 1
第2回?5回：Chapter2?5
第6回?7回：Chapter6
第8回?9回：Chapter 7・Teacher’s feedback / Revision
第10回?11回：Chapter 9
第12回?13回：Chapter 11
第14回?15回：Chapter 12・Teacher’s feedback / Revision

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイのドラフトを７回目と13回目に提出します。教員からのフィードバックをもとに自分でエッセイを修正し、最終提出をしてもらいます。タイトル等の指示は授業内で行います。計画的に準備しておくこと。

【自学自習のためのアドバイス】
第1?5回：該当するChapterのタイトルについての解説を読み理解する。Part1~3の英文を読んだあと各PartのPracticeをし、授業中にペア・グループワークができるように準備しておく。
第6?15回：該当するChapterのタイトルについての解説を読み理解する。Part1~4の英文を読んだあと各PartのPracticeをし、授業中にペア・グループワークができるように準備しておく。
第7回と第13回はトピックについてエッセイの第一ドラフトを作成する。授業中にペアでフィードバックできるように、２部印刷しておく。（授業の終わりに提出をする）
第9回と15回には、第8回と14回にTeacher’s feedbackを受けた第一ドラフトを修正し、最終提出できるように１部準備する。

教科書・参考書等

Mariko, K., Ayed, H. (2019) Real Writing From structured paragraph to complete essay 南雲堂 ¥2,200+税 ISBN: 978-4-523-17886-6

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041444) Communicative English Ⅳ NP(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ・ｲｱﾝ・ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to become more fluent, accurate, and reader-focused writers by the end of the 15-week semester. Students' reading, listening, and speaking skills will improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Write well-developed paragraphs in English;
2. Write different types of paragraphs (narrative, descriptive, compare & contrast, cause & effect, & summary)
3. Competently proofread their own writing;
4. Competently revise their own writing, based on teacher feedback;
5. Type a 1-2 page essay in English using MS-Word;
6. Read their own writing aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact;
7. Improve their overall English communication skills through pair and group speaking tasks.

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on the criteria below:
Participation (in-class effort): 30%
Writing tasks: 70%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
In a typical class, the first hour of class will be spent on activities in the textbook. Students will write in their notebooks, and engage in pair and group activities. In the last 30 minutes, students will take part in communicative tasks, such as role plays and writing/discussion activities that center on, for example, articles and music or videos. Students must write seven 1-page essays as homework assignments. Based on feedback from the teacher, they will then revise their assignments. All class activities will be conducted in English.

【Class schedule】
Week 1: Introductions; Writing sample
Week 2: Begin textbook work: How to type in English
Week 3: Essay #1 due; textbook work
Week 4: How to revise using error codes
Week 5: Essay #2 due; textbook work
Week 6: Textbook work
Week 7: Essay #3 due; textbook work
Week 8: Textbook work
Week 9: Essay #4 due; textbook work
Week 10: Textbook work
Week 11: Essay #5 due; textbook work
Week 12: Textbook work
Week 13: Essay #6 due; textbook work
Week 14: Textbook work

Week 15: Essay #7 due; Wrap up

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should do assigned homework in the textbook and complete essay assignments.

教科書・参考書等

Boon, Andy. (2017). Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9. 2,500 yen + 税.
* All students must also have a notebook for writing tasks.

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。欠席回数が４回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を３回すると欠席１回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041445） Communicative English Ⅳ NP(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English　I / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間・事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 100～150 語程度のパラグラフを書くことができる。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%
Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】テキストに沿って、モデルとなる英文を理解しながら、文や段落の構成、表記や表現などについて学習します。そして単文作成から、まとまった内容の作文へと発展させていきます。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）（第４回ノート提出／第５回ノート返却）
第８回：Midterm paper
第９回～第１２回：演習活動（ユニット8～11）（第12回 ノート提出／第13回ノート返却）
第１３回～第１５回：演習活動（ユニット12～14）
第１６回：Final paper

【自学自習のためのアドバイス】
・具体的な内容については、毎回の授業で指示する。ほとんどの学習内容がノートに書かれ、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第1～4回：原因と結果､比較など多様な表現を身につけ､身近なトピックで英語のパラグラフを書く（8時間）
第5～7回：時制や品詞についての理解を深めながら、第8回のパラグラフライティング試験に向けて資料を集め､計画､準備する。（6時間）
第8回～第12回：さらに多様な文章構成や表現方法を習得しつつ､英語のパラグラフを書く（10時間）
第13回～第15回：明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に､期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め､計画､準備する。（6時間）

教科書・参考書等

Hickling, R. & Yashima, J.(2020)Jigsaw: Insightful Reading to Successful Writing. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-369-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041446) Communicative English Ⅳ NP(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習30時間（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1.英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2.ウェブの高度な検索で，適切なコロケーションを選ぶことができる。
3.手元を見ずにキーボードが打て，スペルチェックやシソラスが使える。
(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

In-class writing: 20%, Effort: 20%,
Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の?法】
(1) Watch/Read BBC news
(2) Discuss the topic
(3) Practice writing using Google advanced/collocation search
毎週ネット上で課題を提出し，出席確認とする。

【授業計画】(マルチメディア教室)
Oct 2：Introduction to the course / Unit 1
Oct 9 - Nov 20： Unit 1-4
Nov 27：Exam 1 / tutorial
Dec 4(この日のみ大A講義室) - Jan 29: Unit 5-8
Feb 5：Exam 2 / follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
２回の試験は教科書の各課に２つずつの Reading の空所補充３０問。
正しくキーボードが打てるように練習すること。

教科書・参考書等

Broukal, M. (2015). Weaving It Together 2 Student Book
Cengage. ISBN 9781305251656.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041447) Communicative English Ⅳ NP(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** コミュニケーション科目	**時間割 2020年度** 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Academic English I / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読者に理解してもらえるよう，英語で文法的かつ論理的な文章を書くことができる。
4. モデルを参考にして英語で 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class effort：60%　Midterm paper：20%　Final paper：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回テキストを一課ずつ，演習形式で進める。授業内容は，文法理解，部分英作文，和文英訳，自由英作文からなっている。また，授業外課題として与えられたテーマについて200語程度のエッセイを課す。

【授業計画】
第1回目　授業ガイダンス，テキストを用いた演習（Chapter 1）
第2～7回目　テキストを用いた演習（Chapter 2～Chapter13）
第8回目　中間テスト
第9～15回目　テキストを用いた演習（Unit 14～25）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、Chapter 1の予習をして授業に臨むこと。
第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを学期中2回提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Nagasaka, N & Robson, G.(2013) KEYSTONE Grammar-based English Writing.　成美堂 1,900円＋税　ISBN 9784791912926

オフィスアワー　火曜　３校時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。全学及び全学共通科目で定められている場合を除き、欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041501） Intensive English Ⅰ Intensive English Ⅰ TOEFLiBT受験対策 TOEFLiBT Preparation	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割** 2020年度 前期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：axx	**対象学生** 特プロ履修学生のみ **特定プログラムとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ，水野　康一	**関連授業科目** Communicative English I		
	履修推奨科目 Intensive English II		

学習時間　講義９０分　×　３０回　＋　自学自習 ９０分 × 15回

授業の概要

この授業では、TOEFL iBT の問題演習を徹底的かつ集中的に行う。週２回の授業のうち、一方では Reading Section を、他方では Listening Section を扱う。

授業の目的

英語圏の大学で講義を受ける際に必要な読解能力および聴解能力を身につけることを目的とする。

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。

到達目標

１．英語圏の大学で使用される教科書レベルの学術的文章を読んで理解することができる。
２．英語による講義の内容を聞いて理解することができる。
３．英語による討論の内容を聞いて理解することができる。
４．英語圏の大学生活における日常的な会話を理解することができる。
５．後期終了時点で TOEFL iBT で 61 点以上のスコアを獲得することができる。

共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル（幅広いコミュニケーション能力)」に対応。

成績評価の方法と基準

課題，宿題等の取り組み　２５％
授業への積極的参加　２５％
期末テスト（TOEFL ITP）　５０％

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１～４回を除く）は、以下のように進める。
月曜：リスニング演習
木曜：リーティング演習
授業開始～30分：小テストを実施し、解答解説を行う。
20分～授業終了：教科書の予習指定範囲について解答解説を行う。
＊適宜、語彙力増強課題や、ディクテーショントレーニングを行う。
【授業計画】
第１回：イントロダクション①（授業の進め方、TOEFL iBT Reading Section の傾向と対策）
第２回：イントロダクション②（授業の進め方、TOEFL iBT Listening Section の傾向と対策）
第３回：Listening Section 模試
第４回：Reading Section 模試
第５回～第28回：問題演習
第29回：Listening Section 模試
第30回：Reading Section 模試
【自学自習のアドバイス】
・毎回、予習内容を指定する。必ず宿題をして授業に臨むこと。
・未知の単語や英語表現については、常に自ら調べ、定着をはかること。
・多くの課題提出を求めるので、もれなく取り組むこと。

教科書・参考書等

授業において指示する。

オフィスアワー　木曜　３校時（経済学部　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。
本プログラムに参加していない学生も、海外留学希望および自身の英語力（TOEIC600点程以上）を示すことにより受講が認められる。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041502) Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅡ TOEFL iBT: Speaking & Writing	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割** 2020年度 後期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **DPコード**：axx	**対象学生** 特プロ履修学生のみ **特定プログラムとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ, ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	**関連授業科目** Communicative English II		
	履修推奨科目 Intensive English I		

学習時間 90 分 × ３０回 + 自学自習 ９０分 × 15週

授業の概要

This course aims to help students develop speaking and writing skills needed for the TOEFL iBT. Monday's class (taught by McCrohan) will focus on speaking; Thursday's class (taught by Willey) will focus on writing.

授業の目的

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要なコミュニケーション能力および文章作成能力を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）ことを目的とする。

到達目標

Through this course, students will become enabled to:
1. Speak in English for varying amounts of time about different academic topics;
2. Take effective notes in order to prepare for speaking and writing tasks;
3. Complete both the Integrated writing task and Independent writing task in the alotted time;
4. Use academic vocabulary effectively in both speaking and writing tasks.
5. Attain a score of 61 or above on the TOELF iBT.
6. Actively participate in courses taught exclusively in English.

成績評価の方法と基準

In-class participation and effort: 20%
Homework and out-of-class assignments: 80%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Overview
Class activities will center on tasks in the textbook or materials provided by the instructors. Students will be assigned homework before each class meeting, and this homework will be part of class activities. For the writing class, students must complete at least one essay per week using the Criterion essay writing program.
Class 1: Introduction 1: TOEFL iBT Speaking Section
Class 2: Introduction 2: TOEFL iBT Writing Section + Criterion orientation
Class 3-28: Speaking and writing practice
Class 29-30: Speaking and writing practice tests
This is an intensive course, which means at least 3 hours of homework will be assigned every week. Students must complete all homework assignments in order to participate in each class. It is important to stay up-to-date with all assignments.
NOTE: A detailed syllabus and calendar for each section (Speaking and Writing) will be given to students on the first meeting of the Speaking class and Writing class. It is best to think of these two sections as two separate classes.

教科書・参考書等

Speaking section:
Rogers, B. (2007). The Complete Guide to the TOEFL Test Speaking. Cengage. ISBN: 978-981-265-987-3, ￥3,046 (税込)
Writing section:
Lougheed, L. (Ed.). (2017). Writing for the TOEFL iBT: With MP3 CD, 6th Edition. Barron's Educational Series. 978-1438077987, ￥2,404 (税別).

オフィスアワー This information will be provided by each instructor on the first class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。ただし、この場合、単位は卒業要件には含まれないので注意すること。

ナンバリングコード　B2ENG-abcG-10-Eg1 授業科目名　（時間割コード：041601） Academic English Ⅰ (1) Academic English Ⅰ Advanced English 1 (1)	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期火4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPｺｰﾄﾞ：abc	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 対応なし
	授業形態　演習 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　Communicative English classes		
	履修推奨科目　Communicative English classes		

学習時間　There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. As this is Advanced English, a high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. There is also a focus on vocabulary and fact checking. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated. I hope that as 'advanced' speakers of English, students will be prepared to introduce and discuss interesting and useful topics.

到達目標

After completing this class, students will be able to:
1) understand to express their opinions in 'paragraph length' comments
2) understand etymologies of English words
3) better knowledge of the topics discussed in class
4) use compensatory strategies in English
5) understand current issues in the English-speaking world focused on
6) better knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in compensatory strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students. Students will also work together to prepare a text for the class.
(15) Student presentations (final)

教科書・参考書等

Life Topics: Reflections. 総合英語ライフトピックス４。 Johnathon Berman and Takashi Shimaoka. Nan'undo.

オフィスアワー　Monday, 3:00 - 4:00 p.m. Please email me beforehand and tell me what you would like to discuss. 研究室は８号館の４Fです。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students must be prepared to fully participate and make contributions to the class.
４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1O-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041602) Academic English Ⅰ (2) Academic English Ⅰ Academic English 1	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 前期月5	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 対応なし
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		
学習時間 90 minutes of lectures x 15 times + self-study and homework			

授業の概要

This course looks at different factors of the English language. Students will learn new ways to approach English with a strong focus on self expression through creative writing, group work and workshops. We will cover many areas, such as pronunciation, vocabulary development and writing styles.

授業の目的

Students will learn to develop ways to better express themselves through presentations, speeches and writing. The main goal of the course is to develop confidence in the students that they will be able to communicate on the international stage.

到達目標

over the semester students will learn to:
1. speak their own opinions and share information in pairs, groups, and in class discussion;
2. give presentations on various topics
3. Use expressions and techniques to make their speech sound more natural and fluent;
4. Prepare and deliver short English speeches and presentations.
5. use creative writing to explore subjects they are interested in.
6. learn techniques to tackle situations where they may not understand context and/or vocabulary.

成績評価の方法と基準

midterm presentation 30%
Final report 30%
Homework 20%
In class effort 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

There will be no specific textbook for this course, rather, we will be watching interviews and presentations, as well as reading real world magazine and newspaper articles.

week 1; introduction to course.

week 2 - 6: In class activities such as discussion, circumlocution practice, reading and writing.

week 7: Midterm test: presentation

week 8 - 14: In class activities such as discussion, circumlocution practice, reading and writing.

Week 15: Final report: A piece of creative writing or non fiction to be decided during the course.

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

教科書・参考書等

You do not need to purchase a textbook. All materials will be provided by the teacher during the course.

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません

ナンバリングコード B2ENG-axxG-10-Lg1 授業科目名 (時間割コード：041604) Academic EnglishⅡ (1) Academic EnglishⅡ IELTS Listening and Speaking Skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 対応なし
	授業形態 講義 グループワーク	単位数 1	
担当教員名 ﾏｸﾗﾊﾝ･ｼﾞｪﾗﾃﾞｨｰﾝ	関連授業科目		
	履修推奨科目		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation. Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' speaking skills for the IELTS interview test. There will be a focus on pronunciation/intonation, responding to questions, giving information, proposing a solution and expressing an opinion. Some attention will be paid to developing student's writing skills for the IELTS.

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills with a focus on the skills required for the speaking section of the IELTS exam. There will be an emphasis on developing vocabulary, phrases and sentence forms. The primary objective is for students to improve their English speaking by the end of the 15-week semester.

到達目標

In this oral communication course, students will become able express them opinion or give information verbally in a clear and organised manner.

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class work and homework assignments: 20%
Mid-term interview test: 40%
Final interview test: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Class work will center on developing the spoken skills necessary to take the interview section of the IELTS test. There will be a focus on developing vocabulary, and the use of spoken discourse markers needed to give good responses to interview questions. In addition, students will be expected to give mini presentations on a variety of topics throughout the semester. Aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.

Week 1: Introduction to course
Week 2-3: IELTS interview practice Section 1; mini presentations on personal topics
Week 4-6: IELTS Interview practice Section 2; mini presentations on personal topics
Week 7: Review of sections 1 and 2
Week 8: Mid-term interview test: IELTS interview test sections 1 & 2
Week 9-13 IELTS interview practice Section 3; opinion-based mini presentations ; IELTS writing practice for graphs and charts. Final presentation topics will be decided in week 12.
Week 14-15: Final interview tests: IELTS interview test sections 1, 2 & 3

教科書・参考書等

Speaking for IELTS (Collins English for Exams) by Karen Kovacs. HarperCollins UK; ISBN-13: 978-0007423255 ¥2200

オフィスアワー Wednesday: 13:00-14:00 (Saiwai Campus only)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

4回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。
Students should have a TOEIC score of at least 550 to enter this class.

ナンバリングコード B2ENG-axxG-10-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041606) Academic EnglishⅡ (3) Academic EnglishⅡ Academic English skills	科目区分 コミュニケーション科目	時間割 2020年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ DPコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 対応なし
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ｳｨﾘｰ･ｲｱﾝ･ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ	関連授業科目 Communicative English I, II, III		
	履修推奨科目		
学習時間 90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.			

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English speaking skills. Students will learn valuable interview techniques and have many opportunities to discuss and debate topics with classmates in English.

授業の目的

Through this course, students will become more confident and competent speakers of English, in pairs, groups, and when delivering short speeches in front of others. The primary goal is to help students become able to use English competently on a global stage, when speaking with people from around the world.

到達目標

Through this course, students will become able to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Speak in English continuously for 2 minutes about various topics;
3. Use expressions and techniques to make their speech sound more natural and fluent;
4. Prepare and deliver short English speeches and presentations.

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
20%: Participation (in-class effort)
20%: Homework & quizzes
30%: Mid-term interview
30%: Final interview

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

授業及び学習の方法

The textbook for this course focuses on the speaking part of the IELTS test. Students will learn how to speak about themselves and various topics in interviews and speeches. We will often discuss short videos, readings, and music, and engage in group work and short speech tasks. All students will have two one-on-one interviews with the teacher (at mid-term and end-of-term) to assess their gains in speaking fluency and skill.

(1) Introductions; Warm-up (Overview of IELTS Speaking test)
(2-6) Textbook activities and regular classes
(7-8) Mid-term interviews (IELTS Speaking test parts 1-2)
(9-13) Textbook activities and regular classes
(14-15) Final interviews (IELTS Speaking test parts 1-3)

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

教科書・参考書等

Kovacs, Karen. (2011). Speaking for IELTS. HarperCollins. 978-0007423255. 1,970 yen.

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。